

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2019 年 6 月 30 日作成 第 2.0 版

<p>研究課題名</p>	<p>原発性肺癌に対する術中 Core Needle Biopsy と閉胸前胸腔内洗浄細胞診との関連性の検討について；後ろ向き観察研究</p>
<p>研究の対象</p>	<p>2008 年 4 月 1 日～2019 年 6 月 30 日の間に、横浜市立大学附属病院呼吸器外科にて手術前に肺癌の診断がついていなかった原発性肺癌患者さんのうち、手術中針生検（Core Needle Biopsy [CNB]）を診断目的に行い、また肺検体摘出した後に胸腔内洗浄細胞診を施行した患者さんを解析対象とします。</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>術前未診断の原発性肺癌に対して、手術する範囲を決定するために、手術中 CNB にて手術中に診断を付ける事ことがあります。この CNB によって腫瘍細胞を胸腔にばら撒いてしまう可能性があるかどうかは現時点では分かっておりません。今回、過去のカルテのデータを元に原発性肺癌に対する CNB および肺検体摘出後の胸腔内洗浄細胞診を行った症例を抽出して、実際に腫瘍細胞が検出されているのかどうかを検討します。本研究の結果は、術中 CNB が原発性肺癌の細胞をばら撒いてしまうリスクを評価することを目的としており、術中 CNB の安全性に関する重要な知見を提供することができると考えております。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2018 年 9 月 10 日（承認日）～ 西暦 2020 年 9 月 9 日（2 年間）</p>
<p>研究に用いる 試料・情報 の種類</p>	<p>対象となる患者さんの基礎情報（年齢、性別、既往歴、喫煙歴、CT 所見、肺癌の臨床病期、術後治療の有無）、手術情報（術式、手術時間、術中・術後合併症の有無）、病理情報（最終病理所見、病理病期、リンパ節転移・脈管浸潤・胸膜浸潤・肺内転移有無、CNB 病理診断結果、開胸時洗浄細胞診結果、摘出後洗浄細胞診結果、胸水細胞診結果）、および予後についてカルテで検索し、後ろ向きに解析いたします。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 呼吸器外科 （研究責任者）伊坂 哲哉 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-0226</p>	

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）